

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(2年目)案件:2007年1月分

番号 実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

1. 小樽商工会議所【OTARU-ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

●1月16日～18日に幕張メッセで行われた、東京テーブルウェアトレードショー2007に「小樽ガラス展」として出展。あわせて来場者に対するアンケート調査を実施。概要は以下のとおりです。

(展示概要)

現地には、実行委員長、参加事業者3名、事務局1名が参加。

会場では、平成17年度JAPANブランド育成支援事業の中で、小樽とガラスの関わりのあるルーツである、ガラスの浮き玉色(青～青緑)を小樽ガラスのイメージカラーとして制作した試作品および参加ガラス工房の工芸品計355点を展示した。期間中の来場者は約600人。

期間中、出展工房作品の購入並びに試作品の購入等について延43件の引き合いがあった。

今回は昨年東京ビッグサイトから幕張メッセに会場を移しての開催となったことから、開催期間中の総来場者数は3,103人で、そのうち、当ブースへの来訪者は、約600人であった。百貨店や専門店などのバイヤーの5人に一人が小樽のガラス工芸品の展示ブースへ足を運んでくれたことは、上々であった。

当ブースへの来訪者からは、小樽のガラスの多様性が高く評価され、小樽ガラスのイメージカラーとした「ガラスの浮玉の色」である青緑も小樽らしい良い色として多くの方から好感を得ることができた。

(市場調査概要)

回答者数 123人

調査項目:《試作品展示に関する設問》

「設定したイメージカラーについて」「イメージする小樽の色」「気に入った試作品価格の妥当性」「試作品の改良点」「共通のイメージカラーをもとに制作する工芸品を「小樽ガラス」として売り出していくにあたっての重要ポイント」

《各工房作品展示に関する設問》

「気に入った展示品価格の妥当性」



東京テーブルウェアトレードショー2007
1/16～18 幕張メッセ

<担当者のコメント>

東京テーブルウェアトレードショーは、百貨店のバイヤーや専門店、ホテルの担当者など、いわば専門家が多く来場する展示会であり、出展にあたっては、そういった専門家から見た試作品がどのような評価を受けるのかを調査したかった。調査の結果、台湾での展示会で好意的に受け入れられた試作品のイメージカラー設定について、今回の展示会においてもアンケート回答者の9割が「良い色」と回答した。試作品の改良すべき点については、「食器洗い機でも洗えるようなものに」「価格は妥当ではあるが、気軽に買える物ではない。安いと思う価格設定も必要」「シンプルなガラスはもっとアレンジを」などのアドバイスをいただいた。また、今後、共通のイメージカラーをもとに制作する工芸品を「小樽ガラス」として売り出していくにあたっての重要な点については、「『小樽ガラス』と認定する条件の確立」を挙げた人が最も多く、「知名度の向上」「認定シール等での顧客への安心提供」が重要だと答えた人も多く、今度の取り組みの参考にしていきたいと思っている。

2.	旭川商工会議所【『旭川家具』ブランド確立推進事業】
	<p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>1月12日にドイツケルンメッセ見本市出展に係る最終打合せ会を開催。</p> <p>1月15日(月)～21日(日)開催のケルンメッセ国際家具見本市に6企業10作品を出展した。</p> <p>旭川家具ブースには会期中7日間で約5,500人(前年より550人増)が来場し、販売額も前回の5割増となった。また、新規契約も、ロシア・オーストリア・アイルランド・韓国などで確定できた。</p>
	<p>＜担当者のコメント＞</p> <p>今回が2回目の出展であるが、前年度で「技術力の高さ」と「優れたデザイン」をPRできたが、「継続して出展するか」と言う不安を残した。今回継続出展し、ヨーロッパの人々が考える「日本らしさ」を表現できた事が成功につながったと思われる。また、来場者と販売額が前年度を大きく上回った事もさることながら、ドイツ以外の地域に新規の契約がとれた事は今後の継続的な販売に大きく期待がもてると思われ、欧州市場における「旭川家具」の知名度は確実に上がりブランド確立に向け大きく前進した。</p>
3.	弘前商工会議所【津軽うるおい、うるわし事業プロジェクト】
	<p>＜今月の事業実施状況＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1月9日(火)10:00～12:00 メゾン・エ・オブジェ出展打合せ 1月10日(水)16:00～21:00 メゾン・エ・オブジェ出展打合せ 1月17日(水)16:00～21:00 メゾン・エ・オブジェ出展打ち合わせ 1月23日(火)メゾン・エ・オブジェ展示会出展メンバー出発 1月25日(木)～30日(火) <p style="text-align: center;">メゾン・エ・オブジェ会期</p>
4.	東通村商工会【「飛躍する未来へ!!「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト】
	<p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>1月18日(木)に第3回地酒ブランド開発部会を開催した。</p> <p>部会の開催内容は、新規のジュラ紀湧水仕込み「吟醸酒」特別純米酒「能舞演目シリーズ」のデザインを検討し最終決定された。</p> <p>また、2月に兵庫県神戸市で開催される「ひがしどおり海山喰(か)さまいフェア」での展示商談会の内容を説明と協力要請した。</p> <p>最後に、報告会(プロジェクト実行委員会・ブランド開発合同部会)の開催日程と内容について説明し終了した。</p>
5.	山形商工会議所【山形発「カロッツェリア型ものづくり」のブランド展開】
6.	会津若松商工会議所【BITOWA FROM AIZU】
7.	川口商工会議所【Casting Innovation 新・川口鑄物の創造】
8.	富士吉田商工会議所【海外展開ブランド支援事業『プロジェクト Fuji-façonné(フジ・ファソネ)』】
	<p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>1月31日・2月1日に開催されたTISSU PREMIER展に出展。</p> <p>○展示会概要</p> <p>来場者数:5,592人(2日間) 出展国:18ヶ国 出展ブース:269ブース</p> <p>○Fuji-Façonné 出展概要</p> <p>出展生地:5グループ307点 トレンドフォーラムノミネート:21点</p>

○引合状況

引き合い会社数:31社 引き合い点数:296点

ロシアの有名デザイナー-SLAVE ZAITSEV 氏が、日本の布帛製品の視察のため当地を訪れ、Fuji-Façonné の製品を視察。ZAITSEV 氏は Fuji-Façonné の製品に深い興味を示し、特に特殊な加工を施した製品群には是非自身のコレクションに加えたいと再度のコンタクトを約束し帰国した。

＜担当者のコメント＞

この TISSU PREMIER 展で重要なことは、まず「トレンドフォーラム」で来場者の興味を引くことのできるような生地を展示できること。来場者は一通りブースを見て回るのではなく、的を絞った訪問をする。このことについては、今回の引合にも影響があり、ブースを訪れた人の生地選び方が、数多くではなく、選りすぐりの生地を希望するケースが多く見られた。

特に目立った傾向として、自然の素材(オーガニックコットン、竹等)が注目されている。一方で、現実離れた素材(メタリックなもの等)も同時に注目されていること。自然な中にも何かはっとするようなものを取り入れるのが今回の一つのポイントではないかと感じた。

主催者の Eurovet の展示会マネージャーが、カメラマンを同行してブースを訪れた際、ディスプレイの仕方など、賛辞を受け、またこの展示会のプレス会議の中で、当ブースの話題もあがったとの話もあった。こうした評判を聞いてブースを訪れたという人もいた。

国内とは違い、産地の織物をヨーロッパ市場に進出させるためには、やはり産地と市場をつなぐコーディネーター・エージェントの協力が重要になる。今後、コーディネーターによる、引合のあったバイヤー等への積極的なアプローチが販路拡大の鍵となる。また、産地としては、コーディネーター・エージェントとの連携を強め、市場のニーズを探り、より優れた生地作りが求められる。

9. 三条商工会議所【SANJO 発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト】

10. 燕商工会議所【“enn”ブランド育成支援事業】

＜今月の事業実施状況＞

1月9日

第4回“enn”ブランド育成委員会を開催。海外見本市出展に伴う経費を確認し、各企業の負担割合を調整した。

1月28日～2月1日

アメリカニューヨークの国際ギフトフェアに出展。商談84件、成約・成約見込み21件、代理店の申込み1件。さらに地元月刊誌からの取材があったほか、博物館からのオファーも。総じて、アメリカでも十分通用するとの印象を得た。



第4回“enn”ブランド育成委員会



New York 国際ギフトフェア(1/28～2/1)

	<p><担当者のコメント> ニューヨーク国際ギフトフェアは、お客のほとんどがアメリカ人。 開催日初日(日曜日)は地元の小売店、2日目は大型店(百貨店やスーパー:日曜日は大型店は休日)、3日目は報道関係と日にち毎に業種が異なる。(=JETRO 情報)</p>
11.	<p>加茂商工会議所【桐を中心とした加茂木エブランドの海外市場販路確立プロジェクト】</p> <p><今月の事業実施状況> 【検討内容】 ・ケルン国際家具見本市出展の準備等を行った。 ・見本市終了後、来場者データを分析し、現地コーディネーターにフォローアップを依頼。 【その他】 1/5~21 ケルン国際家具見本市出展。</p> <p><担当者のコメント> ・ケルン国際家具見本市に初めて出展し、デザイン・桐・技術に対して高い評価をいただいた。会場で実施したアンケート・名刺の分析を行い、ビジネスにつながるよう動きたい。</p>
12.	<p>岡谷商工会議所【岡谷絹<純絹(あしぎぬ)>製品のブランド化事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 1月26日~30日まで、フランス パリノール見本市会場で開催された、メゾン・エ・オブジェ2007に2回目の出展をいたしました。経糸と緯糸に純糸を使った諸純絹による男性用ジャケット、女性用ストールをメインに既存の製品とあわせて70点程を展示しました。今回は繭から糸をとる簡単な実演をブース内で行い、多くの皆さんが訪れました。約20件の商談があり、メールとFAXでの対応に今後の期待が高まります。中でもパリでブティックを経営している日本人女性経営者の店舗に、岡谷絹を何点か置いていただけた話になり、海外での販路拡大の一拠点となりそうである。</p> <div data-bbox="935 887 1461 1279" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">メゾン・エ・オブジェ出展 (1/26~30 フランス・パリ)</p>
13.	<p>飯田市鼎町商工会【「飯田水引ブランド」世界へのはばたき】</p> <p><今月の事業実施状況> 1月12日: 第10回プロジェクト会議 今後の事業展開の協議とコンセプトメイキングのための作品の内容確認。コンセプトづくりに十分時間を掛けることで一致。 期間中: デザイナーとのコラボレーションによる試作品づくり 1月29日: 補助事業の内容・経費の配分の変更承認申請書を提出。</p>
14.	<p>福田町商工会 【FUKUDE コード・ルネッサンス MISSION~コーデュロイ(ブランド名 solbreveco)の世界への発信】</p> <p><今月の事業実施状況> 1/18 静岡県立大学経営情報学部視察受け入れ 明和織物(株)・丸音織物(株)・カネタカ石田(有) 1/26 フランス・パリ パリノール見本市会場 -30 「メゾン・エ・オブジェ」静岡県ブースにおいて solbreveco を紹介</p>

15.	<p>一宮商工会議所【JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業】</p> <p><今月の事業実施状況> 2月に、パリ・ミラノでの企業訪問のための、2008年春夏 素材開発を参加企業11社より納入完了。 それに伴い、HPのJBコレクションも、2008SS素材を更新いたしました。</p> <p><担当者のコメント> 2月の企業訪問に向けて、各社素材開発が完了し、HPも更新し、順調に進捗しております。</p>
16.	<p>有松商工会【創造と進化～有松鳴海絞りブランド～】</p>
17.	<p>高山商工会議所【「飛騨春慶のある生活提案」によるブランド育成事業(リビング編)】</p>
18.	<p>紀北町商工会【JAPANブランド ザ たべきり】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>■デザイナーの専門家決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●12月から新たなるパッケージデザイナーの専門家選考を始める。 ●平成19年1月初旬、デザイナー候補の関和孝司氏から現在のパッケージと商品企画の意見と関和氏作品3点を紹介した雑誌が届く。 ●平成19年1月15日(月)デザイナー候補の関和孝司氏オフィスを訪ね、数々のアイデアと提案をいただく。 結果、アートディレクター関和孝司氏を当プロジェクトの専門家デザイナーとしてお願いする。 <p>■専門家招聘</p> <ul style="list-style-type: none"> ●参画事業所の工場に専門家を招聘し、『JAPANブランド ザ・たべきり』シリーズ商品『レンジ料亭』の従来の製造工程による検証と改良テストを実施する。 ●平成19年1月11日(木) 庄司 仁 氏(商品開発) <p><担当者のコメント></p> <p>■デザイン専門家決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アートディレクター関和孝司氏から『商品と企画とデザインやネーミングが上手くかみ合っていない』とお話をいただく。そしてデザインは技術・商品の差別化を実現するものである。また、当商品についても『消費者が買う』、『市場にマッチ』するにはなどデザイン戦略の基礎知識を学んだ。 <p>■商品開発専門家招聘</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商品開発において、専門家による従来の製造工程の検証を実施した。 今まで当たり前に行っていた作業に、『食味』を決めるターニングポイントがあった。専門家による検証の大事さを知る。
19.	<p>輪島商工会議所【「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—】</p> <p><今月の事業実施状況></p> <p>【12月の実施状況】</p> <p>12月 初旬 常設展示場で展示を行ってから約3ヶ月が経過したことから、新たな商品の差し替えについて検討し、展示商品の募集を実施した。</p> <p>中旬 展示商品の選考会を実施し、決定した商品について、梱包作業を行った。また、展示場の内装や入口付近の変更についても検討を行い、その英文PR文書を作成。事務的作業として、輸出準備(カルネの作成等)を行い、商品を発送。</p>

12月15日 実行委員会を開催

18年度の進捗状況について説明

- ・前年度作成した商品を貸し出すルールを決めることとなった

【1月の実施状況】

1月11日 実行委員会の開催

- (1)海外プロジェクト
- ・9月に開催した日本クラブでの展示会の報告
 - ・9月に開設したNYの常設展示場について報告
 - ・3月に開催されるNY食文化展への出展について説明
 - ・常設展示場についての企画展を開催について説明

- (2)国内プロジェクト
- ・再発信分科会
去年度より立ち上げている「ワジマアルチザンプロジェクト」「TOKIKA」の2シリーズについて、コンテンツの作成を依頼した旨説明。
 - ・前年度開発した商品について、販売ルールの意見を聞いた。

<担当者のコメント>

去年、NYの日本クラブから、NY在住の日本人との縁が生まれ、これを拡大することが、日本の伝統をPRする機会に着実になってきている。

ドバイの件は、積極的に会頭が動き、海外の記念品となった。

伝統工芸は、もちろん日本を代表するブランドだが、JAPANブランドのような補助金が無ければこのように海外に目を向けることすら出来なかったと思う。

常設展示場がオープンしてから約三ヶ月が経過しニューヨーカーの輪島塗に対する生の声が入手する事ができ、それに伴う商品変更を実施した。

昨年度のような短期間の展示会では得る事ができなかった情報が入手でき、やはり常設展示場におけるPR並びに情報収集効果がはっきりとあらわれた。

20. 能登町商工会 【『能登の醸し』ブランド発信事業】

<今月の事業実施状況>

- 3月のNY展示会出展に向けた輸出の準備
- 3月のNY「いしり」ディナーショー開催の準備
集荷・輸出スケジュールの調整。
現地協力者との連絡調整
海外用パンフ、ラベル、レシピの準備。等
- 商談会の開催
流通関係の担当者を能登に招いて個別商談会を開催。
- 普及・PRの実施
パブリシティの活用(民間テレビ局、県の情報紙等)
- いしりマップ作成:継続中
- いしり差し作成:継続中
- 委員会の開催:新商品の試食と評価

<担当者のコメント>

海外輸出に関して

輸出に当たっての課題

- 1.輸出に関する輸出国の情報がほしい
- 2.輸出国の法制度の変更点等の情報が入りにくい。

- 3.法律制度に変更があると大変手間を取る。
- 4.価格面において、各国の製品との競争が厳しいため、品質の面での差別化を打ち出す必要がある。

輸出の取組みのなかで

- 1.商品だけを販売するのではなく、利用方法はもちろん、製造方法を提供し、日本食文化思想や歴史等の背景を説明し販売した方が良いのではないか。
- 2.輸出により、さらに安全・安心に積極的になり、安全管理に関してはISO9001を取得し、HACCPを取り入れた管理を行うなど、企業と同時に社員のレベルアップにも繋がってほしい。
- 3.海外においてもヘルシーさに敏感な人が多く、栄養評価の提示等を提示することで売上げが上がるかも。
- 4.県と連携することで、知名度アップとブランド化、販路確保がより可能となる。輸出の促進のために、官民一体となり石川県食材をもっとPRしていきたい。そのために必要な支援措置を行ってほしい。
- 5.海外で販売されたことが、生産者の生産意欲向上につながってほしい。
- 6.今後、出荷数量及びアイテム(品目)の増加を図っていきたい。

21. 山中商工会【YAMANAKA ブランドの確立】

<今月の事業実施状況>

- 1月 19日 マチエフ国際家庭用雑貨・ギフト用品見本市出展(1/19~1/22 ミラノ)
- 1月 19日 NY 展示会 委員会
- 1月 21日 国立新美術館ミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」に NUSSHA 出展
- 1月 23日 メゾン&オブジェのアテンド員出発
- 1月 25日 メゾン&オブジェ展示準備作業
- 1月 26日 メゾン&オブジェ出展(1/26~1/30 パリ)
- 1月 28日 アテンド員帰国
- 1月 29日 NY 展示会 委員会

【1月のNUSSHA 製品掲載誌】

・エルアターブル 3月号(2007年1月31日発売 (株)アシェット婦人画報社)

<担当者のコメント>

年末に送付した見本市展示用サンプルも無事ローマの代理店に到着、2007年最初の出展見本市であるマチエフ国際家庭用雑貨・ギフト用品見本市に出展することができた。また1月26日からは第5回目の出展となるメゾン&オブジェに出展、今回は新規代理店を通じての出展となったがNUSSHAのカラフルな製品は、代理店が従来扱っていた無地の陶器やガラス製品とうまくマッチして展示面で相乗効果が得られたように感じた。メゾン&オブジェではブース位置の移動や代理店移籍等の不安事情にもかかわらず、多くの引き合いがありアテンド員が持ち込んだカタログ、DMの半分を初日で消化してしまった。実際の成約確定は会期終了後のFAX、メールによるものが過半数を占めるため集計は2月中旬以降となるが、前回は凌ぐ実績が期待される。

NY展示会が近づき、内容詳細を検討している。NY最先端アートを集めるチェルシー地区ギャラリーでの展示会であり、山中漆器がどう評価されるか期待している。

22. 鯖江商工会議所【めがねのメッカ福井県鯖江市「THE291(フクイ)」のブランド展開】

<今月の事業実施状況>

プロジェクト委員会

- ・新商品の進捗状況を各デザイナー、企業から報告。
- ・ホームページの改正案を田中コーディネーターより報告
- ・次年度の計画について委員から意見をもとめた。

<担当者のコメント>

- ・デザインから提案があるのに、メーカー側がその一部しか採用せず曖昧な対応が多い。
- ・次年度は地域活性化ファンドを利用するなどして本部機能を強化していきたい。

23. 京都商工会議所【KYOTO PREMIUM】

<今月の事業実施状況>

- 1/10 第2回輸出ビジネスセミナー開催(海外展示会での商談ケーススタディ)
- 1/17 第5回ワーキング委員会、出展団・視察団事前説明会開催
- 1/25~2/1
KYOTO PREMIUM/メゾン・エ・オブジェ出展団派遣(企画事業者9社から各1名が参加)
- 1/26~30
メゾン・エ・オブジェ 2007 出展
- 1/27~2/2
フランス・パリ視察団派遣(計7名)



メゾン・エ・オブジェ出展
(1/26~30 フランス・パリ)

<担当者のコメント>

海外の高級百貨店やセレクトショップ等からの引き合いも多く、一定の手ごたえを感じる事ができた。一方、受注、決済や配送、ブランド管理などに関する課題が浮き彫りとなった。例えば、現在、各社ごとの決済・発送となっているが、これを一元化してもらいたいというリクエストがお客さんから多くいただいた。

24. 京都府商工会連合会【丹後テキスタイル】

<今月の事業実施状況>

- 1/17 第10回ワーキング委員会を開催。1月初旬のコーディネーターの現地調整結果を受けて、「丹後テキスタイル展」出展に関する最後の打合せを行った。
- 1/28 出展者及び事務局、展示会のために日本を出国、フランス・パリへ向かう。
- 1/28 パリ到着。先に出発していたコーディネーター、空間コーディネーターと落ち合う。
- 1/29 展示会開催初日。午前中を準備にあて、正午から開催(12:00~20:00)。コーディネーターの尽力で現地の専門誌“Journal de Textile”1月23日号に展示会に関する記事が掲載されたため、開催時間前から世界的ブランドであるエルメスの取締役が訪れるなど、幸先のよいスタートであった。約50名が来訪。



- 1/30 展示会2日目。昨日を教訓に午前10時には来場者に対応できるようにした(10:00~20:00)。テキスタイル関係者の来場が本格化。有名ブランドの関係者や高級ブティック、百貨店バイヤー、国立の教育機関の関係者・学生など、約80名が来場した。サンプル等の発注依頼が多く、通訳が足りない状況となった。

1/31 展示会最終日(10:00~20:00)。2日目より更に来場者が多く、約90名が来場。世界的に有名なデザイナーの来訪や、連日来場されているブランド関係者もあり、8事業者が出展している小さな展示場にもかかわらず滞留時間も2~3時間に及ぶ方が多かつた。そのため会場内は終日賑わっていた。前日同様、発注書作成のため通訳が大忙しとなった。終了間際も有名ブランド関係者の来訪が途切れず、終了時間を大幅に延長するなどの対応に追われた。翌日に会場の後始末をし、2/2パリ発、2/3に無事帰国した。



<担当者のコメント>

今回、展示会が大成功に終わり関係者一同、満足感に包まれている。来場された方の反応も上々とのことで、出展された事業者も改めて自らの技術力に自信を持たれたようだ。スウォッチの依頼やサンプル依頼も多く、今後の展開に期待が持てるものであった。後は、商談内容を忠実に履行するとともに、この機会を大いに利用してジャパンブランド「丹後テキスタイル」の確立に役立てていただきたいとの思いである。今回の展示会の成功は、まず第一には自らのキャリアを賭けて全力で有力ブランドなどのテキスタイル関係者の集客に当たっていただいた現地コーディネーターの努力にあるが、出展事業者がこの事業に対して意思統一のもとチームワークよく動いたことも事業成功の大きな要因である。意思統一までは若干時間がかかったが、その後はブレーキをかけるような言動は一切なく自分たちの事業として積極的に取り組んだ。そのうえ、事業コーディネーターや空間デザイナーの働き、通訳も大変優れた方々で手際よくチームワークよく動いていただいたことなど、全てがうまく機能したうえでの成功であった。今後はこの成功を活かして丹後テキスタイルをヨーロッパに根付かせたいと関係者一同決意を新たにしている。



25. 一宮町商工会【～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立】

<今月の事業実施状況>

- ・試作品開発 「招福の香 エンジェル・バグ」(香りのペアストラップ:コーン 2 個入 15 種類) 本体や 15 種類の香りのコーンが完成し詰め合わせ準備に移る。
- ・パリ展示会用備品作成 仏語版 PRDVD、香司垂幕、のぼり
- ・「あわじ島の香司」商品チラシ作成(香立 2 種類・エンジェル・バグ) 日本語及び英仏版の 2 種類作成
- ・兵庫県経済人会議参加者記念品配布

<担当者のコメント>

国内及び国外展示会出展用の備品準備やその後の対応についての協議をする。フランスでの販売計画や展示会の出展方法等の事業展開を引き続き協議するが思うように進まない。

26. 御坊商工会議所【木の国「置き和室」国際ブランド化プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

平成 19 年 1 月度は、ロス・パリ海外展示は継続展示中。展示にともない製品についてアンケート収集するなど、海外における市場性を調査。マーケティング展開の一環として、家具・インテリアルート(販路)での取材調査活動など市場可能性の検討をはかる。九州家具展への視察やユーザーアンケートなども実施、へ向けた情報収集を開を開始する。試作品のテスト導入も開始され、具体的に公共関連施設でテスト使用されている。テスト導入先での使用状況や製品評価などを情報収集する。

今後のマーケティング展開／家具・インテリアルートで販売ツールとして活用する新しい改良試作品を主体とするパンフレット制作に取り組む。試作品撮影を実施。
1月末から海外展示先であるロサンゼルスへ向けて、海外市場視察の実施を計画している。本格的な事業販売組織化へ向けた検討と参画事業所への根回し。

<担当者のコメント>

平成19年1月からは、事業の終盤として、製品開発・改良からマーケティング展開への事業ウエイトをシフト。具体的に海外展示を通じたマーケティング拠点づくり、国内販売では家具・インテリアルートの市場可能性調査、テスト導入による公共関連施設での市場可能性検証とアプローチなど、本格的なビジネス展開への土壌づくりを進めていきたい。

27. 松江商工会議所【NEW 松江菓子海外市場開拓プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

【12月の実施状況】

- 1) 2～3日 出雲商業高校デパート(販売実習)に協力。商品仕入れ、販売、経営計画等協力。
- 2) 7日 正副会頭会議にて渡米イベントについて報告。
- 3) 26日 実行委員会 渡米イベント結果報告

【1月の実施状況】

- 1) 韓国貿易センター(大阪)より来所され輸出及び企業進出について勧誘された。
- 2) 12日 実行委員会 今年度事業、来年度事業について
- 3) 17日 実行委員会 全国販売に向け協議。
- 4) 25日 実行委員会 来年度事業について協議。(外国人記者クラブ主催「松江ナイト」企画)
- 5) 26日 松江市長表敬訪問(米国イベント報告、今後の事業等説明)

<担当者のコメント>

- (1) 12月は業界での事業が多く、商品開発の時間が取れなかった。
- (2) 1～2月に国内イベントを3事業考えていたが、2事業については先方の都合で4月に延期になった。

28. 府中商工会議所

【FUTON-STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業)】

<今月の事業実施状況>

1. 府中家具メーカー海外展開セミナー

と き: 1月15日(月)午前10時～正午

と ころ: 府中商工会議所

講 師: 広島県商工労働部 産業振興局 国際ビジネス促進室 室長 新林 睦士 氏

内 容: 「家具メーカーの海外出展戦略と商談方法」

○ 展示会までに必要なこと

- ・ 府中家具のように高級家具なものはターゲット・マーケティングをきちんとしておかなければならない。
- ・ アメリカは訴訟社会なので、PLなどよく調べておくこと。
- ・ その他の保険はどういったものをつける必要があるか調べること。
- ・ 田中様と代理店契約をするのか、現地代理人を紹介してくれるのか、今後の販売方法を決めるべき。
- ・ 標準小売価格を決定し、根拠をはっきりさせておくこと。業界へ価格が出たら値上げできない。(電気店の場合、最終小売価格は一次卸値の2.5倍)
- ・ 各社が作製した商品カタログは英語版でないと現地の方は見ない。

- ・ 支払人、荷受人、値付けの詳細(アメリカの基本値付け)、セールスマンのコミッション費用の詳細(危険負担は含んでいるのか)、FOBの支払い条件の詳細など、価格の中身が含まれているのか、現地代理人と各社の思いが一致していないといけない。展示会までに確認しておくこと。
- 各社個別で商売するときに必要なこと
 - ・ 一番安くて一番早い輸送業者を選ぶこと。
 - ・ 輸送業者へ梱包サイズごとの輸送料金を聞き、自社の梱包サイズごとの輸送料金を把握すること。
 - ・ 大きい商社の必要はないが、家具で海外と取引をしている所は日本でもあるので、商社を入れて販売するほうが安全である。
 - ・ 大都市を狙うなら、ロス、シカゴ、ニューヨークであるが、地域戦略を決めたほうがよい。現段階では、現地代理人の方がシアトル在住なので、おそらく西海岸になるだろう。

2. ラスベガスマーケット展示会出展

と き: 1月30日(火)～2月2日(金)

と ころ: キャッシュマンセンター(ラスベガス)

内 容:

- ・ 展示会は4日間ラスベガスのワールドマーケットセンター(常設会場)とキャッシュマンセンター(臨時会場)で開催。
- ・ 今回開催のラスベガスマーケットの来訪者は7万人。前回の2006年の7月に開催された5万人より40%増である。これは、常設会場の2号館オープンによる影響が大きい。参加国は、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、アジア、南アメリカ、オーストラリアと世界のほとんどの国が参加している。
- ・ 来訪者で興味を示した客の90%がインテリアデザイナー、残り10%が高級マンション開発会社、超高級家具小売店である。高級家具の場合、インテリアデザイナーがコーディネートして販売をする。
- ・ 来場者からは、「塗装の仕上げや木の組み方が美しい」、「デザインがすばらしい」などの声が寄せられ、府中家具の品質の高さをアピールできた。
- ・ 展示会を主催するワールドマーケットセンターの代表からは、「こんな素晴らしい家具は今回及び過去の展示会でも見たことがない」と評価され、「次回は、ヨーロッパの高級家具が並ぶメインブースを用意するので、ぜひ出展してほしい」と要請を受けた。
- ・ その他、音響機器メーカーから自社製品と府中家具との共同開発の提案を受けるなど、今後につながる商談が20社以上もあった。



ラスベガスマーケット展示会出展(1/30～2/2 キャッシュマンセンター)

	<p><担当者のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会では、商品の金額がバイヤーたちに受け止められるか不安であったが、金額よりも質を考慮してもらえたお陰で好意的に受け入れられた。 ・初めての海外出展であったが、大変好評で、今後の海外出展にとっても良い感触を得ることができた。 ・今後は、現地代理人の協力をえて、商談を行った企業へのフォローを行いたい。
29.	熊野町商工会【「FU-DE」世界的ブームの創出。みんなで描こう！世界のスマイルフェース】
30.	高松商工会議所【「6jo」(ロクジョウ)ブランド確立事業】
31.	東かがわ市商工会【市場性を重視した試作品から商品への展開を図り、ブランドの確立と、メーカーと市場を繋ぐシステムの構築】
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>□第2回ワーキング委員会(1/10)</p> <p>(1)小田急百貨店展示会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OZONE杉原氏より、展示商品・展示場所の説明を行った。 <p>(2)試作品制作状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各参画試作品制作メーカーから試作品制作の進捗状況の説明を各自発表していただき、問題点等の相談解決を行った。 <p>□第5回プロジェクト委員会(1/29)</p> <p>(1)小田急百貨店委託契約書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より契約書の説明を行い、全員の賛同により締結することに決定。 <p>(2)デザイン使用権契約書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より契約書の説明を行い、全員の賛同により締結することに決定。 <p>(3)試作品の上代価格について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各メーカーより、後日報告をしていただくことになった。 <p>(4)本年度の試作品原価計算書及び請求書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より再度様式説明、了解を得る。 <p>(5)ラベル作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベル作成は取りやめて、簡単なパンフレットと試作品をデザイナーごとに紹介したパンフレットを作成し、来場者に配布することになった。 <p>(6)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット販売の引き合いがあったことの報告、展示会に来ていただき商談することとなる。
32.	福岡商工会議所【21世紀博多織 JAPAN ブランド】
33.	大川商工会議所【大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業】
	<p><今月の事業実施状況></p> <p>1月18日 リーフレットとCDが納品され、パリ展示会参加者へ配布。</p> <p>1月21日 大川出発、同日、パリ到着。</p> <p>1月22日 荷物の到着、その後、会場設営と展示品の開梱、組み立て。</p> <p>1月23日 展示品の設置。</p> <p>1月24日 展示レイアウト、照明・電気関係の確認。</p> <p>1月25日～29日 プラネット・ムーブル・パリ展示、29日は搬出・撤去作業。</p> <p>1月31日 パリ出発。</p>

<担当者のコメント>

会場設営と準備は順調に進んだ。大川の展示は6コマと大きいので、設営に3日の余裕を持たせたのは良かった。

大川が出展した、プラネット・ムーブル・パリは、メゾン・エ・オブジェの別会場であるが、比較すれば来場者に大きな差があった。

展示・商談については、具体的な商談件数119件、20カ国との商談がなされた。



プラネット・ムーブル・パリ出展
(1/25 ~ 29 フランス・パリ)

また、商品の反応としてはおおむね好評であり、特に技術面での関心は高かったが、外国人の日本趣味の域を出ていないような感じでもあった。

今回の目標であった、パリの家具販売店への商品展示はできなかったが、いくつかの具体的な商談を通じて、販売実績へとつなげ、ヨーロッパへの輸出の足がかりとしたい。

今回の展示では、商社の協力によりスムーズな運営ができたので、商社の活用は必要不可欠であると感じた。

34. 広川町商工会【古くて新しい！新風久留米絣ブランド化事業】

<今月の事業実施状況>

若手部会を3回、開催している。

1月5日、インターナショナルファッションフェア(17~19日)の出展準備と30日からのフランス出展の最終打合せを行った。

1月12日、IFF 展で手織実演の為の機(はた)の分解、組み立ての確認を行い、その他出展物とともに梱包発送した。

1月23日、IFF 展の成果報告とフランス出展の最終調整を行った。



展示会出展は、

1月17日~19日、IFF 展(東京ビッグサイト)、

1月30日~2月1日、ティッシュプルミエ展(フランスリール)、

2月1日~4日、プレタポルテパリ展(フランス・パリ)を実施している。

IFF 展に併せて、パンフレット及工程パネルを作成した。エッセイ&写真集も完成、PR 活動に活用した。

<担当者のコメント>

昨年と比べて、今年の東京での展示会では、多くの商談を行うことが出来た。その原因は、生地の価格を20%程度落としたこと、12mの反物ではなく、1mのサンプル生地でも数多く展示し、気に入った生地があれば、切って渡すようにしたことだろうと思う。また、バイヤーが、なにか変わった特長のあるものを探しているという感じがあり、和柄のブームと昨年のような価格に対する反応はなく、「多少高くても特色のあるものを」ということだった。昨年とは違い、追い風を感じるし、地道な活動で着実に前進しているという実感がある。

35. 苓北町商工会【CERAMICA AMAKUSA 天草陶石・陶磁器ブランドプロデュース事業】

＜今月の事業実施状況＞

○1月13日(土)～18日(木)「アクロス文化交流展・天草陶磁器展」を開催

場所:福岡市天神「アクロス福岡」。

九州の中心地福岡で天草陶磁器・陶石を展示、PR。

6日間で約2,000人が来場。特にアズレージョ(陶板)や照明に好評価を得た。

全国の磁器原料8割のシェアを持ち、有田焼などの主原料となっていることや天草にこんなに素晴らしい焼き物があるとは、など驚きとともに様々な評価を得て有意義な展示会であった。

反面、知名度の低さを痛感させられた。



＜担当者のコメント＞

天草陶磁器展は、数年前から毎年、福岡市でも開催しているが、リピーターがいる反面まだまだ知らない来場者もあり、知名度の不足を再認識。ただ、来場した客の評価は総体的には良く自信に繋がった。

36. 大分県商工会連合会【Harb&Harvest Oita プロジェクト】

37. 鹿児島県商工会連合会【薩摩が誇る美と技のコラボレーション】

＜今月の事業実施状況＞

今回のヨーロッパ市場調査はフランス・パリ, オーストリア・ウィーンで実施。

1月16・17日の2日間は, フランス・パリで薩摩切子2事業所・大島紬4事業者の181アイテム, 313点を出品し展示会を開催した。展示会にはバイヤー・デザイナーを中心に招待し, 187名の方に薩摩切子・大島紬を見ていただき意見を聴衆した。また, 1月19日には今回展示会に来ていただいた2企業を訪問した。

1月23日～26日の4日間は, オーストリア・ウィーンで商談会・ファッションスクールの訪問・デザイナーとの交流を実施した。

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(1年目)案件:2007年1月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	札幌商工会議所【スイーツの街・札幌 ブランド発信事業】
2.	盛岡商工会議所【南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業】 <今月の事業実施状況> フィンランドから招聘したデザイナー、タウノ・タルナ氏から、盛岡での視察・意見交換等を通して得たアイデアを盛り込んだデザインを受け取った。 受け取ったデザインを下に、試作企業の調整、技術的な検討、モデリング等の作業に着手した。また、試作担当企業による技術的な詰め作業などを経て、フィンランドデザインによる南部鉄器の新製品の試作を開始した。
3.	菟田野町商工会【UTANO ブランドの創出～毛皮・鹿革を活用した地域ブランド構築プロジェクト】 <今月の事業実施状況> 化粧・エステサロン部会 ネーミング・ロゴ案の検討 販売促進ツール ・DVD 製作に当たり、大阪のスタジオでの“エステシーン”撮影、地元菟田野において田舎の風景とバイオリン奏者のマッチングロケ敢行、ナレーション音声吹き込みなど実施。 ・パンフレット(かばん、エステの2種類)・記載内容、配色構成の確認。 ・エステベーシックハンドブック…… 記載内容、配色構成の確認。 東京インターナショナルギフトショー出展小間装飾プランと、エステ体験コーナーの企画案検討。 試作品の改良・モニター等の意見を参考に、使いやすさを追求、製品別(フェイスマスク・デコルテ・ミトン)に改良を加える。 価格設定・業務用希望上代(参考価格)価格の設定などについて協議する。 <担当者のコメント> 来月の東京インターナショナルギフトショー出展に照準を合わせ、広報媒体の製作(パンフ2種類、エステガイド、DVD 製作、ホームページ作成など)にタイトなスケジュールのなか取り組んでいる。 東京インターナショナルギフトショーの、小間ブースでのデモンストレーションが、どれだけ来場者の関心を引く事が出来るか、効果があるか！またエステ業界との新しいつながりを持つ事が出来るか！ など期待する面が大きい。
4.	泉佐野商工会議所【泉州こだわりタオルブランドの構築】 <今月の事業実施状況> 泉州こだわりタオル推進委員会 1月13日 同委員会を開催し、11月に実施した展示会での約2300通の消費者アンケートとモニターアンケートの集計結果の報告と、1月23日～24日泉佐野技術センターにて実施する展示会、2月13日～16日に開催する東京インターナショナルギフトショーへの対応について協議を行った。 また、森専門家委員と組合より3名による、アメリカ市場調査に向けての内容他について協議を行った。 泉州こだわりタオル展示会 1月23日(火)～24日(水) 泉佐野技術センター

泉州こだわりタオルPR

泉州こだわりタオル 2007 のパンフレットを、全国の百貨店、量販店、専門店などへ送付し泉州こだわりタオルのアピールを行った。

海外市場調査

1月18日より26日にアメリカ市場の調査を森専門家委員と大阪タオル工業組合より3名の4名により実施。

アメリカ西海岸のサンホーキン綿作から東海岸ニューヨークでの繊維見本市、タオルファブリック館、アメリカ唯一のタオルメーカーの視察から小売店頭の調査、サンプルの調達などを行った。

調査の内容は、2月27日に報告会を実施予定である。



アメリカ市場調査

<担当者のコメント>

1月9日、石毛中小企業長官との懇談会において、当所 重里常議員(大阪タオル工業組合 理事長)よりJAPANブランド事業の報告を行った。

また、大阪府他主催の「おおさか地域活性化フォーラム」に於いても重里豊彦(大阪タオル工業組合理事長)がパネラーとして参加し、地域ブランドとしてJAPANブランドの報告を行った。

5. 神戸商工会議所【神戸ブランド Meets 上海】

<今月の事業実施状況>

打ち合わせ会

日 時:平成 19 年 1 月 9 日(火)16:30 ~ 18:00

場 所:神戸市役所

出席者:(ファッションプロデューサー:高田恵太郎、神戸商工会議所:関口幸明、藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子)

内 容:神戸ブランド Meets 上海プロジェクト参加企業がほぼ確定したので、ショー・ブース出展における詳細について、参加企業向け説明会の内容について検討。

企業向け説明会(株ワンダーフォー)

日 時:平成 19 年 1 月 12 日(金)10:30 ~ 12:00

場 所:神戸市役所

出席者:ファッションプロデューサー:高田恵太郎、(株)ベイエリア:田中宏明、(株)ワンダーフォー:瀬川敏明、東博元、福地希里子、芦田理佳、神戸商工会議所:藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子)

内 容:ワンダーフォー社のブースについての説明。ブースの大きさや場所、レイアウト、商材の撮影日時、コンパニオンの説明。ワンダーフォー社のブースだけでなく、神戸ブースのコンパニオンにもワンダーフォー社の靴を履いてもらう事と、神戸ブースに出展する企業の衣裳や真珠をワンダーフォー社のブースにいるコンパニオンに着用してもらう事が決定。その他、ブース展示の仕方について意見交換を行った。

企業向け説明会(神戸ブース)
日 時:平成 19 年 1 月 16 日(火)13:00 ~ 14:30
場 所:神戸市役所
出席者:ファッションプロデューサー:高田恵太郎、(株)ベイエリア、(株)バーテクス:深堀靖文、神戸商工会議所:藤田敦大、神戸市:山田恒子、酒井竜一郎、寺前由美子)
内 容:神戸ブースについての説明を行った。ブースの大きさや場所、レイアウト、商材の撮影日時、コンパニオンについて説明。神戸ブースだけではなく、ワンダーフォー社のブースのコンパニオンにもバーテクス社の衣裳と(有)イソワパールイーストの真珠を着用してもらう旨も併せて説明した。

<担当者のコメント>

2月10日の神戸コレクション出展に向けて、プロデューサー、出展企業関係者と準備に関する細部の調整を行った。

6. 今治商工会議所【Imabari タオルプロデュース ~「新 Towel ライフ」の演出~】

<今月の事業実施状況>

開催日:平成19年1月15日11:00
場 所:スパイラル東京都港区南青山
出席者:インタプランング(有) 富山達章
(株)サムライ 佐藤可土和、江藤源
アッシュコンセプト 尾崎亜由美
ひびのこづえ事務所 ひびのこづえ
(株)ワコールアートセンター 松田朋春、渡邊モイチ
今治市商工労政課、今治商工会議所

議事・要件

「今治タオルプロジェクト」プレス発表会、懇談会について

開催日:平成19年1月17日10:30
場 所:今治商工会議所2階特別会議室
出席者:インタプランング(有) 富山達章
今治商工会議所 大野専務(代理竹内次長)、近藤寛司、楠橋秀巨、清水副部長山本係長
四国タオル工業組合 藤高理事長(代理木村事務局長)
四国経済産業局 田丸中小企業課長(代理重岡係長)
愛媛県今治地方局 大川課長
繊維産業試験場 高橋室長
今治市商工労政課 岸田次長、浜田課長補佐
振興センター 諏訪専務

議事・要件

第2回プロジェクト実施委員会


7. 中芸地区商工会【「魚梁瀬(やなせ)杉」再生プロジェクト】

<今月の事業実施状況>

1月24日 Monacca ワーキング
ドイツアンビエンテ展示会にかかる詳細を協議
モナッカバッグの2007年版価格設定について協議

平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

戦略策定支援(0年目)案件:2007年1月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<p>能代商工会議所 (木材製品)</p> <p><今月の事業実施状況> 今月(1月)の事業実施状況 1. 7～8回目の秋田杉ブランド推進委員会・ワーキンググループ打合会の開催を検討中。必要に応じて開催する。事業報告書並びに成果報告書のとりまとめについて検討、協議する。</p> <p>来月以降の事業実施予定 1. 調査事業の一環として「秋田杉のイメージ調査・アンケート調査」を実施したが、その結果をベースにした「秋田杉について」の動向並びに分析の方向について(発注額:20万円)協議する。 委員会等とは別途に開催し、専門家に発注したコメントについて協議する。 また、成果報告書のコメント原稿の内容、発注先印刷会社(発注予算額30万円)の選定について検討協議する。 2. 2月5日(月)午後2時～、最終の委員会(第4回)を開催予定。ゲストを招へいし、講演会を実施。 ゲストスピーカーには、杉を活用したプロダクトデザインの研究者で、日本全国スギダラケ倶楽部で活躍中の秋田美術工芸短期大学の産業デザイン学科の菅原香織先生を招へいし、秋田スギのブランド化とデザインについての講話を聴講する。講話は委員だけではなく、幅広く聴講者を募集する。 また、各事業の進捗状況と取りまとめを報告・協議する。(第4回全体会議)。 秋田杉を活用した建築資料集の作成を依頼(発注額115.5万円)しており、その内容について協議する。</p> <p><担当者のコメント> 直面した課題とその対応状況:3点について記入 ・ブランド化の確立の為に、何か形に残るものを想定する必要があると検討中。 ・秋田杉のイメージ調査を実施、その報告書を作成中。 ・秋田杉の木造住宅とその構造等の普及が必要で、また、公共住宅の木造化も検討する。</p>
2.	<p>宮城県商工会連合会 (木地玩具、漆器の融合)</p> <p><今月の事業実施状況> 1月26日(金) 第4回ワークショップで次年度の事業展開について検討、出席委員より合意を得た。 また、提出議題(2)にあるように、2月16日(金)午後1時30分より、工人のみならず、地域住民にも本事業での取り組みについて広く知ってもらうためのセミナーを開催することとした。 【提出議題】 (1)次年度の事業展開について (2)ブランドセミナーの開催について</p> <div style="text-align: right;">  </div>

3.	梁川町商工会（ニット製品） <今月の事業実施状況> 1月12日推進委員会 ・JAPAN ブランドニットファッションセミナーの開催を決定した。2月24日開催。 モスクワにて活躍する、リュドミラ・ナルソヤン氏の招聘。 1月25日ニット業者企画担当者会議 ナルソヤン氏デザインスケッチの活用について、企画担当者による活用方法について、話合われた。
4.	足利商工会議所（雲井織） <今月の事業実施状況> 1月16日第9回足利銘織創造研究会の会議において、ブランドコンセプトづくりのまとめとして一般消費者が足利市に対する評価と興味、繊維製品に対するニーズを調査、そして「足利幕府」プロジェクトに対する消費者の興味とニーズを調査目的として足利に関する消費者調査を実施した。 鈴木会長は、JAPAN ブランドプロデューサー会議という情報の中で他の地域で JAPAN ブランド事業を早く結果をだそうとしている所は上手く進んでいない状況。徹底的にメンバーで検討し、地域にいる人が考えていかなないとこの事業は成功しないであろう。 このプロジェクト(足利幕府)につながった経過:萩市へ視察した事例をふまえて、足利の民家・蔵を利用(足利銘織ミニギャラリー)、足利銘織・雲井織(足利銘織最高級品をつくる)、足利学校(関東最高学府)現代版足利村塾、コンテストの実施等以上のような自然・歴史・モノ・サービス資源を活かした事業展開をしていく。 調査方法はインターネット調査によるもの。 今回の「足利幕府」プロジェクトという話題性、そして消費者調査結果をふまえながら優先順位をつけて実施していくこととなった。 話題性づくりとして足利幕府を育てながら歴史と自然、現在の技術を使いモノ資源であるメイン商品を何にしていくのかがポイント。 次回は、今回実施した消費者調査結果を踏まえての方向性をだし、シナリオをつくり議論していくこととなった。最後に2月2日に開催されるイタリアの中小企業戦略が示す足利の道をテーマとした講演会の案内をし、閉会となった。 <担当者のコメント> ブランドコンセプトが決定した関係で次年度への取り組みをどのように進めるのかが課題であろう。
5.	鹿沼商工会議所（建具） <今月の事業実施状況> 今月は実施しなかった。 <担当者のコメント> 来月で事業完了となるので報告書作成や提出書類作りで繁忙な日々を送りそうである。
6.	糸魚川商工会議所（ヒスイ） <今月の事業実施状況> 12/7 第7回ヒスイブランド推進委員会 (1)委員長代行の決定 早津委員長病気療養につき、副委員長永江氏代行就任

(2)日本総研調査員との懇談

日本総研高橋調査員と本事業について懇談 「糸魚川ヒスイのブランド化」について現状、課題など

コーディネーターの選任についてが今後の課題との認識確認

(3)視察見学市場調査の報告原稿について

目次

- 1.市内加工販売業者の調査
- 2.国内加工業者の調査
- 3.ジャパンジュエリーフェア等国内市場調査
- 4.中国国内における宝飾品、ヒスイの文献調査
- 5.中国国内の流通業者の調査
- 6.香港ジュエリーウォッチフェア等国外市場調査

(4)群馬長野見学所見取り纏め

宝石として以外のヒスイの利用法の模索も必要

(5)第18回国際宝飾展について

1/24 から 27 まで各自自由見学とする

(6)次回委員会について

12/18 ブランド戦略の最終構築について

12/18 第 8 回ヒスイブランド推進委員会

(1)市場調査中間とりまとめ結果について

デザイナー 使ってみたいし、知っているが 8 割はデザインモチーフとして未利用
消費者 アクセサリーは平均 5 個所有で半数はヒスイを知らない。

(2)ブランド化戦略の構築について

コーディネーターの模索

ブランドコンセプト 勾玉に象徴される神秘性をメインイメージに
日本的なイメージを高めるデザインで

ブランドの啓蒙 糸魚川の誇りとなるように 糸魚川の石で糸魚川で最終加工されたものを糸魚川ブランド
デザインコンペの開催

ヒスイ宣伝 ヨーロッパでの展示会目指す まず知名度の向上
「幸」をコンセプトに説明文作成 日本の魂に触れる ヒスイの勾玉に宿る霊力

製作試作 ヨーロッパでの展示会用にアクセサリ、勾玉その他新しいもの

確立後の維持 受け皿として独立した機関の協会設立し品質管理とブランドの維持にあたる

事業者取り纏め 来年度の JJF 出品に向けて協力依頼

(3)その他

来年度 JJF に出品する

中国市場アンケートの内容について決定

(4)次回委員会 1 月 23 日

1/23 第 9 回ヒスイブランド推進委員会

(1)ブランド化事業の計画 最終検討の第 2 回

前回の討議により作成された提案書について別紙プリントにより検討

・市場調査報告

別紙資料により調査機関と専門化より国内、国外市場調査ジュエリーショウ見学について報告。
国内外業者へのヒアリング調査について報告。

・報告書原案について検討。概ね了承。但し事業所固有名詞は極力伏せる。

・具体的方法の展開にあたり調査機関と専門化よりアドバイスあった次の項目を検討
地元利益確保のためのビジネスモデルを考案。

- A.ブランドマネージャーの選任。
- B.流通会社の設立。
- C.デザイナーの養成。
- D.石の認定機関設置。

以上について委員より糸魚川市の業者でない場合の対応を検討する必要あり。デザインブランドなのか製品ブランドなのか今後煮詰めるべき。ブランドの格付けはどのあたりに。市の出資も得て原石の確保の協力得るべき。2/16 全国宝石学会で「なぜいまヒスイなのか」テーマになっている。

などの意見があった。

(2)次回委員会

次回 2/13 17:00 より委員会 18:30 より業者との懇談会とデザインセミナー
(社)日本ジュウリーデザイナー協会 会長 三木稔氏を招き 開催

<担当者のコメント>

19年度ジュエリーフェア出品決定した。1月に再度業者懇談会実施。
市内ヒスイ関連業者との懇談会で、いかに前向きに意見集約ができ、協力を得ていくかが課題。

7. 甲府商工会議所（宝飾品）

<今月の事業実施状況>

委員会

1. 戦略審議セクション会議(第6回)

日時:平成19年1月30日(火)午後1時30～

場所:甲府商工会議所401会議室

内容: 1)前回(第5回会議)内容の再審議について

2)その他

* 前回の審議で、商標使用ルール、コレクション条件、選定ルールについて、委員各位より始めから各ルールを厳しくすると参加が難しくなるとの意見があり、当所は参加しやすい程度で、徐々に厳しくルールをとる意見があり、最低限のルールを提案し承認された。

2. 戦略策定セクション会議

第11回

日時:平成19年1月15日(月)午後3時00分～

場所:甲府商工会議所501会議室

内容: 1)第5回審議セクション会議提案事項結果対応について

2)最終のまとめ

3)平成19年度事業提案書の作成内容について

第12回

日時:平成19年1月30日(火)午前11時00分～

場所:甲府商工会議所501会議室

内容: 1)第6回審議セクション会議提案事項について

* 上記内容を検討し、第6回審議セクション会議へ提案することになった。

<担当者のコメント>

最終段階に入り次年度の具体的事業の取組、実施にあたっての取り決め等の検討にはいる。

8. 静岡商工会議所（家具）

<今月の事業実施状況>

海外市場としてターゲットにしている中国に向けての市場調査(現地調査)を下記の通り実施した。

【調査名】 中国市場における受容性把握のための調査

【調査目的】 静岡家具ブランドとして開発予定の『木工技術を使った灯りの生活具』および日本の家具・インテリア製品について、今後、中国市場をターゲットに販路開拓をしていくための情報を得ることにより、静岡家具ブランド育成・確立に向けて策定するブランド戦略アクションプランの貴重な資料とする。

【調査方法】 現地調査

【調査内容】 ・現地一般家庭における家具利用に関する実態調査(中流家庭・上流家庭)
・家具小売店における販売(購入)動向調査(PLAZA66 内の高級家具店・IKEYA)

【対象地区】 中国上海市

【実施日】 平成19年1月6日～8日

調査実施後、Webアンケート調査(平成18年12月16日～23日実施)の集計結果とともに分析を行い、調査報告書を作成した。

第5回「静岡家具ブランド戦略策定委員会」は平成19年2月23日(金)に開催予定。

9. 豊橋商工会議所（佃煮）

<今月の事業実施状況>

三河佃煮工業協同組合加盟企業への個別ヒアリングを実施

(18年12月に引き続き実施、合計4日間11社)

地元専門家へのヒアリングを実施(1月16日)

豊橋創造大学、豊橋調理師専門学校、豊橋観光コンベンション協会

第4回全体会議を開催(1月26日)

平成18年度事業のまとめ及び残課題の検討

(2月に委員会を開催し最終の詰めを行う。)

<担当者のコメント>

課題

平成18年度事業について、まとめの段階に入っているが、さらに、専門家ヒアリングの追加等細部の詰めを必要としている。

10. 瀬戸商工会議所（窯業）

11. 蒲郡商工会議所（繊維製品）

<今月の事業実施状況>

・ H18.12.10 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。
11月28日企画会議の試案に沿って企画案3案提案書を作成。三河地区繊維事業所の調査報告書の作成。三河の各繊維事業所から技術調査にて収集した生地サンプルの整理区分。

・ H18.12.18 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。
「JAPANブランドとして3案を作成(A全版パネル、スライド、配布版)」。三河地区繊維事業所の調査報告書の作成(特徴と評価レポート作成)。

- ・ H18.12.21 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)と委員会メンバーによる合同企画会議。
「専門家メンバーによる調査書・企画案報告」(1)ジャパンブランドとして3案を作成について説明。(2)三河地区繊維事業所の調査報告書について説明。(3)専門家メンバー3名と委員会メンバー出席者とのJAPANブランド企画内容について意見交換。
- ・ H18.12.26 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。
12月21日開催企画委員会での意見を踏まえ見直し項目の抽出。繊維事業所の参加アンケートの内容検討および作成。今後の報告書作成について打合せ。
- ・ H19.1.9～1.14 「ハイムテキスタイル展視察」 海外市場調査として、ドイツ・フランクフルト国際見本市会場にて開催の国際ホームテキスタイル専門見本市「ハイムテキスタイル展視」に専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏)および当産地産元事業者4名参加し、情報収集を実施した。
- ・ H19.1.21 専門家メンバー3名(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) 事業遂行打合せ。
ハイムテキスタイル展視察報告の写真等区分整理。
- ・ H19.1.26 専門家メンバー1名(佐口昌司氏)と委員会委員との事業報告の内容日程等打合せ。
報告書作成スケジュール・報告会日程等打合せ。

12. 白川村商工会 (薬草・山野草)

<今月の事業実施状況>

- 14回専門委員会:ブランド候補案の詳細について
- 15回専門委員会:推進体制について

13. 高岡商工会議所 (銅器・漆器)

<今月の事業実施状況>

第2回セミナー 1月22日(月) 場所:高岡商工ビル (参加者数42名)

テーマ「ヨーロッパ、国際マーケットとミラノが作るトレンド」
～ジャパンデザインのポジションについて～

講師 伊藤 節 氏(デザイナー/建築家、ミラノ在住)

内容 ・偶然ではない、歴史からモノを学び、モノ作りに活かすことが大切。

・イタリアの中小企業の社長はデザイナーであることが多く、イメージを社員に作らせるといったトップダウン方式が非常にしっかりして、自ら交渉していけるので、大企業と対抗していける。

・素材や機能の裏にある、背景や物語を消費者に想像させることは非常に大切であり、最終品をイメージして進めていくことが大事である。

・ミラノは、デザイナー、システム、教育等すべてが整っている。 等と講演した。

ワークショップ 1月23日(火) 場所:高岡商工ビル (参加者数7名)

アドバイザー:伊藤 節 氏、伊藤 志信 氏

内容 個別に自社の商品等に対し、伊藤氏がデザインアドバイス等を行った。

その他、製造業者等3社を訪問し、現場指導を行った。



<担当者のコメント>

講師の伊藤氏からは、セミナーではヨーロッパのトレンド状況等を、又、ワークショップにて個別アドバイスも行われ、参加者の今後の事業展開の参考になることが多かった。

14. 大野商工会議所 / 勝山商工会議所 (醗酵食品)

<今月の事業実施状況>

[12月の取組状況]

1. 委員会の開催

(1) 12月22日 第8回検討委員会の開催

内容(1) 京都方面の調査の報告を参加者より行う。

(2) 和泉地区の調査報告が行われる。

(3) 次年度以降の事業展開について協議を行う。

2. 先進事例研修

(1) 視察先: 亀岡商工会議所(京都府亀岡市)

実施日: 12月7日

参加者: 5名

調査内容: アクティブかめおか推進会議品の取組みや亀岡ブランドの認証制度の取組みについて現地調査を行う。

(2) 視察先: (財)丹後地域地場産業振興センター(京都府京丹後市)

実施日: 12月7日

参加者: 5名

調査内容: 丹後ブランド商品販売促進事業並びに丹後ブランド認証制度等について現地調査を行う。

[1月の取組状況]

1. 委員会の開催

(1) 1月9日 推進会議の開催

内容: 今後の方向性及び次年度の事業取組について協議を行う。

(2) 1月29日 検討委員会の開催

内容(1) ニューヨーク視察の報告が行われる。

(2) 奥越前・郡上味の交流会見学の報告が行われる。

(3) 次年度以降の事業展開について協議が行われる。

2. 海外調査

視察先: ニューヨーク

実施日: 1月17日～1月21日

参加者: 2名

調査内容: ニューヨークでの日本食や日本酒・調味料の状況について現地調査を行う。

<担当者のコメント>

各地の取組み事例の現地調査により、当地域の取り組むべき方向性の参考となった

次年度以降の取組みについて、関係者の合意を得ることができた。

地元テレビ「福井放送」のローカル番組「イケてる福井」において、『奥越前の伝統「醗酵食品」を全国に、そして世界に!』と題して、1月13日、取組等について紹介がされた。

15.	鳥取県商工会連合会（インテリア）
16.	新市商工会（インテリア） <今月の事業実施状況> 12月で事業をほぼ完了したため、1月は参画事業者等を対象とした報告会を行った。
17.	三加茂町商工会（木製品）
18.	五十崎町商工会（和紙） <今月の事業実施状況> 第8回戦略策定委員会(1月13日) 協議:(1)JAPANブランド事業報告書について ・事業報告書(原案)の読み合わせ・確認・修正 ・東京に前進基地としてのメンバーがそろい、パリとの連絡・情報網が整備されつつあることが報告された。 (2)その他 <担当者のコメント> 前もって委員さんへお送りした報告書の原案を読み合わせし、修正を行った。 あらためて、五十崎和紙を事業としてどのような方向へ進めるか、どういう形で残していくか、今年度のまとめを行い、さらに次年度事業の戦略を考えた。 今年度、委員さんには、直接和紙の生産・販売に携わらないにもかかわらず、地域の文化としての和紙を対象に、とても熱心に意見を出していただき、委員長から1年間の協力のお礼が述べられたあと、次年度も同様の活動をしていただくようお願いがあった。 また、地元事業所の協力(モノ・人)を得て、界限づくり委員のメンバーを中心に、大型和紙の試作も引き続き実施していくことが話された。 次年度は、JAPANブランド事業1年目の採択を視野に入れて、「五十崎和紙」をブランド(産業)として展開させていくため、協議・検討を続けていくことを再確認しあった。
19.	香美市商工会（刃物、農機具） <今月の事業実施状況> 1月10日 (1)海外視察について ・展示会視察のポイント 会場全体の確認・ルートの確認 / 製品や技術の確認・ブースレイアウトや装飾デザイン・スタッフ・アテンダントや接客態度の確認 / 類似品の確認(価格・デザイン) / 来場者の確認・ブースの確認 / パンフレット・カタログ・価格情報の入手 (2)委員会のあり方と今後の方針 ・今までの経過 方向性が決まっていない / 具体策が出てこない / 進捗状況が遅い ・補助金について 県・市の補助金が確定しない ・今後の方針 組織化をしていく / 自己負担もともなう 1月18日 ・個人用園芸用のマーケット・海外の日本製品鎌の販売状況・業務用山林用具の状況 確認だけで終わる

	<p><担当者のコメント> ・海外見本市の視察ポイントについて充分話し合えた。</p>
20.	<p>大木町商工会（花莫蔭）</p> <p><今月の事業実施状況> JAPANブランド専門部会合同会議（流通、市場開拓・生産、デザイン開発）を1月17日（水）PM1:30から開催し、佐々木、石橋部会長あいさつをし、引き続き、協議事項に入る。 前回（12/22）の会議の討議内容を踏まえて、清須美・市川先生提案の提案書（案）を清須美先生より説明をし、各委員提案書（案）の協議をし、地域ブランドは、「ブランド戦略ではなく、マーケティング戦略である」と言うことを、基本的に考えて置いていただきたい旨の、意見等活発に出され提案書（案）は了承された。 次回の会議を2月9日（金）PM3:00と決定し、会議の審議は終了した。</p>
21.	<p>小石原村商工会（陶器）</p>
22.	<p>城島町商工会（瓦インテリア、河川用環境ブロック）</p>
23.	<p>那覇商工会議所 / 国頭村商工会（三線）</p> <p><今月の事業実施状況> 報告書の作成 2月7日に開催する第3回委員会での提出・議論に向けて、本事業の報告書素案を作成した。 シンポジウムの準備 2月に開催予定である、本事業の報告会も兼ねたシンポジウムについて、参加者募集や講師との調整など準備を行った。 実行チームミーティングの開催 実行チームミーティングを1回実施し、報告書に関する検討や、2007年に入ってから動き方の検討などを行った。 組織化に向けたコラボレーション 組織化に意識のある三線店も実行チームの打合せに加わり、今後の方向性や、2月に開催するシンポジウムについて議論を行った。本事業と組織化に向けての動きが一体化の方向へと進むきっかけとなっている。</p> <p><担当者のコメント> ・組織化に意識のある三線店も実行チーム打合せに加わったことで、本事業と組織化に向けての動きがうまくリンクする方向へ進むと思われる。2月に予定しているシンポジウムにて三線店が集まることで、更に組織化に向けての動きが高まれば、と考えている。</p>